



開館史上、最大級



From TFAM's Collection: One of Japan's Largest Ever Exhibitions of Western Paintings



東京富士美術館

とことん見せます! 富士美の西洋絵画
日本最大級の西洋絵画コレクション、全貌公開!

特別連続講演会



特別連続講演会

第2回「近世ヨーロッパ美術の表情 —聖なる世界と世俗の世界—

日時：2017年2月19日(日) 14:00~15:00 (開場は13:30)

※終了時間を超過する場合もございます。ご了承ください

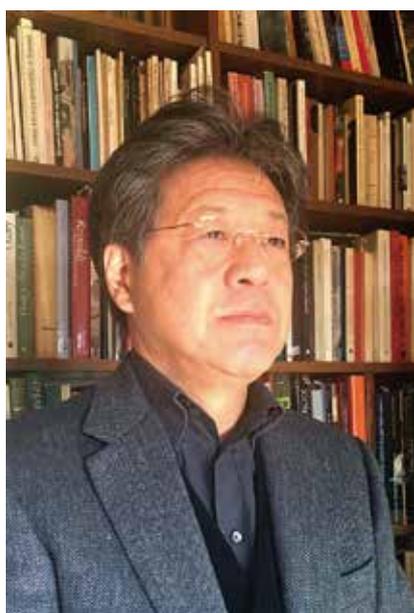
会場：東京富士美術館 ミュージアムシアター

料金：無料 (ただし展覧会の入場料金が必要です)

申込み：不要。定員200名

※当日正午より、講演会場入口にて入場整理券を配布 (お一人様一枚配布)

内容：ルネサンス美術がいち早く花開いたイタリアとネーデルラントの間に位置するフランスは、双方から刺激を受けながら独自の美術を作り上げました。イタリアからは聖書や古代文学をどのように絵に表現するかを、ネーデルラントからは対象の正確な描写の技術を学びながら、フランスの画家たちは知的で抒情的な作品を生み出しました。16世紀から18世紀のヨーロッパ美術を、こうした視点から考えます。



大野芳材 (美術史家) おおの・よしき

1954年生まれ。

東京大学大学院修了、パリ第四大学留学。

〈主な著書〉

『フランス近世の美術』(財務省出版局)

『フランス近世美術叢書』全5巻(ありな書房、監修)

『西洋美術の歴史6、17~18世紀』(中央公論新社、共著)

『世界美術大全集18 ロココ』(小学館)

〈主な訳書〉

『シャルダン』(西村書店)

『ジョルジュ・ラトゥール』(二玄社)

『パリ大図鑑』(西村書店)他。